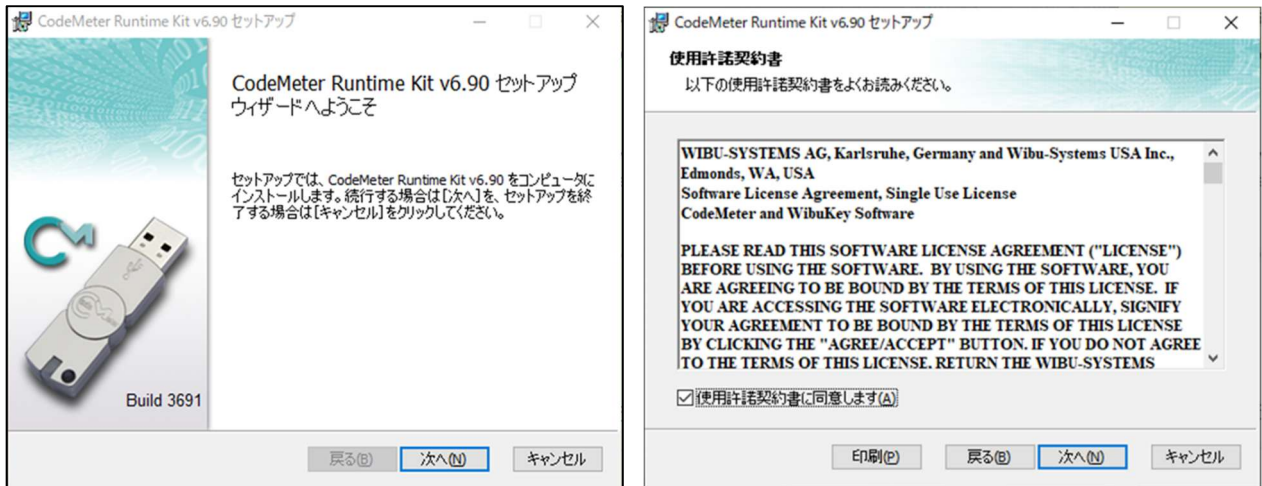


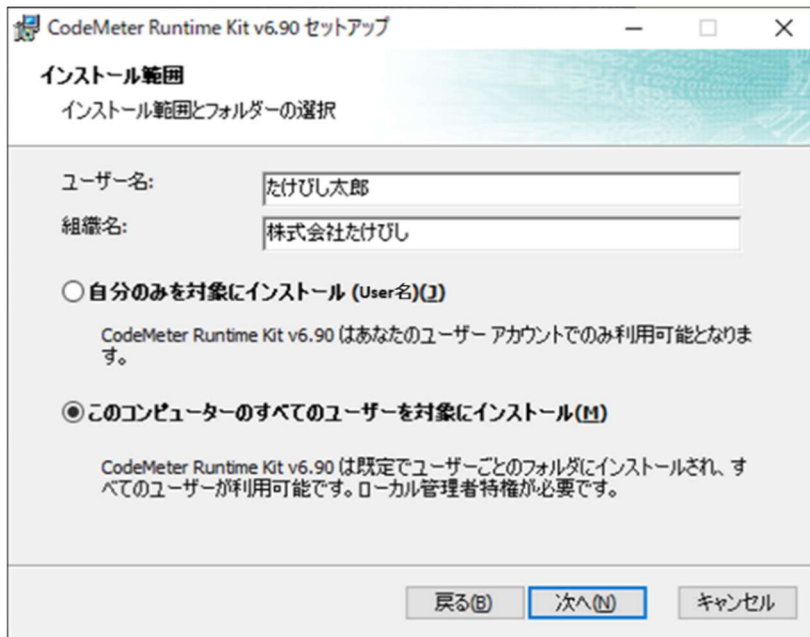
3.14.1 ホスト OS で CodeMeter Runtime のセットアップ

デバイスエクスプローラがインストールされていない環境で、ライセンスキーを利用するには CodeMeter Runtime をインストールする必要があります。

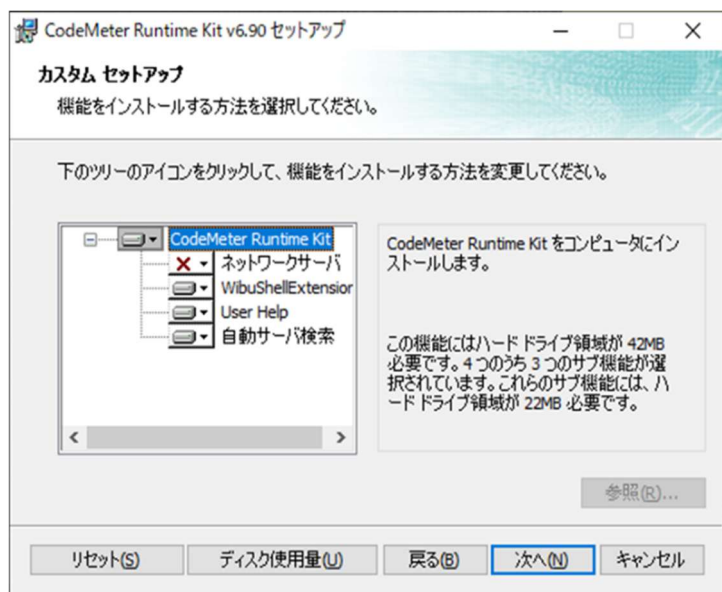
- (1) FAWEB のダウンロードページ(<https://www.faweb.net/download/download>)から「CodeMeter Runtime セットアップファイル」をダウンロードし、インストールします。
- (2) セットアップ画面が起動したら「次へ」をクリックし、「使用許諾契約書に同意します」にチェックし、「次へ」をクリックします。



- (3) ユーザー情報を入力し、「次へ」をクリックします。



- (4) セットアップする機能を以下のように設定し、「次へ」をクリックします。



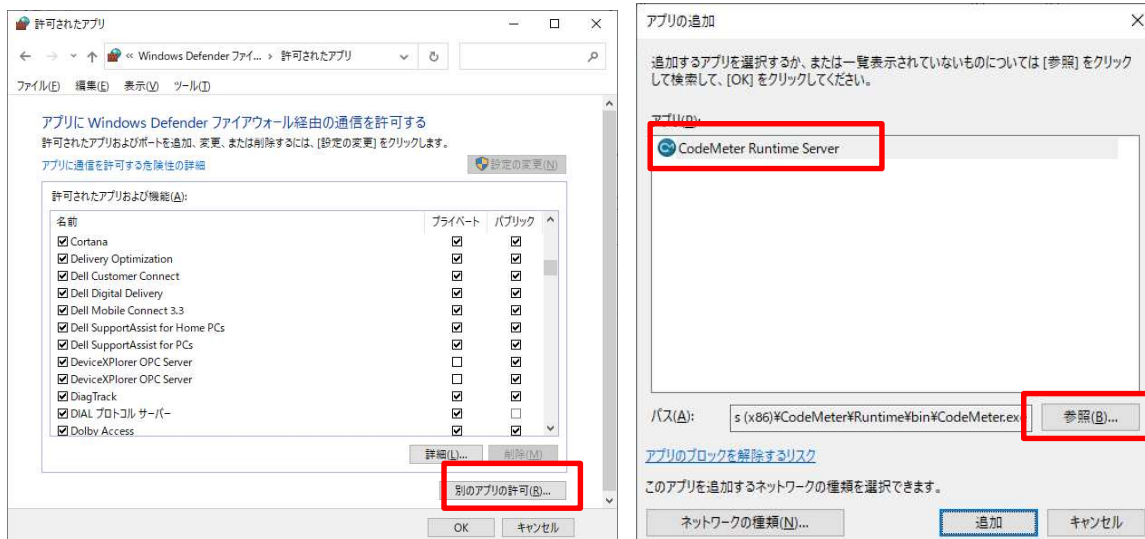
- (5) 以下の画面が表示されるので「インストール(I)」をクリックし、インストールを開始します。



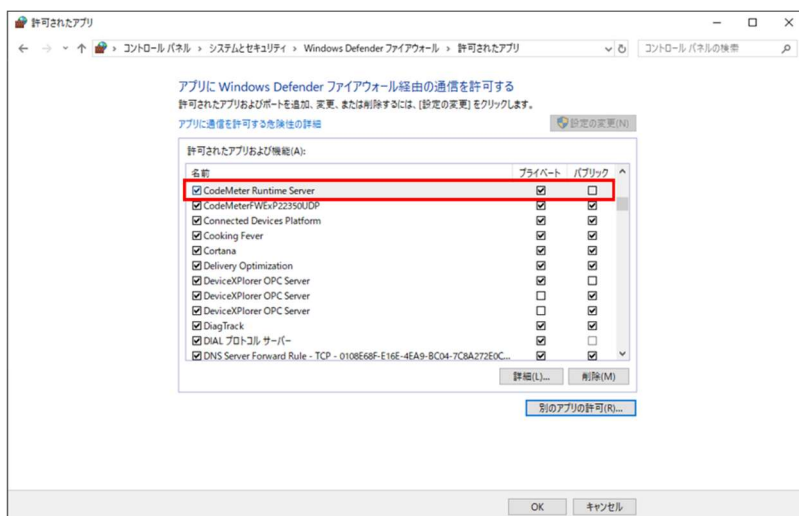
- (6) ホスト OS 側のファイアウォール設定で CodeMeter のファイアウォール経由の通信を許可する手順を以下に記します。
コントロールパネル>システムとセキュリティ>Windows Defender ファイアウォールより、「Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」を開きます。



- (7) 「別アプリの許可」をクリックし、「参照」から CodeMeter.exe のファイルパス (C:\Program Files (x86)\CodeMeter\Runtime\bin\CodeMeter.exe) を指定し、CodeMeter Runtime Server のファイアウォール経由の通信を許可します。



- (8) プライベート、パブリックはお客様のネットワーク環境に合わせて許可ください。



3.14.2 ホスト OS でライセンス有効化

ハードウェアキーの場合は、ホスト OS にハードウェアキーを装着します。

ソフトウェアキーの場合は、ホスト OS 側で、ソフトウェアキーの有効化手順に沿ってソフトウェアキーを有効化します。

3.14.3 ホスト OS でライセンスサーバー機能有効

- (1) スタートアップメニューから「CodeMeter Control Center」を起動し、ハードウェアキーの場合は CmStick、ソフトウェアキーの場合は「Takebishi CmActLicense」が列挙されていることを確認し、「WebAdmin」をクリックすると、ブラウザで「CodeMeter WebAdmin」が開かれます。



- (2) 「CodeMeter WebAdmin」上の「ライセンスモニタリング」をクリックし、「6001002 – 2220」のライセンスが利用可能な状態になっていることを確認します。



- (3) 設定にカーソルを合わせ、「サーバー」>「サーバーアクセス」をクリックします。



- (4) 「サーバーアクセス」画面が表示されます。「ネットワークサーバー」の「可」にチェックを入れ、「適用」をクリックします。



- (5) 「ライセンスアクセス許可」をクリックし、「モード」の「基本」、「基本モード設定」の「追加」をクリックします。



(6) ゲスト OS に割り当てられている IP アドレスを入力します。



(7) 「基本モード設定」にゲスト OS の IP アドレスが追加されていることを確認し、「適用」をクリックします。



重要

ライセンスアクセス許可は必ず設定してください。(ゲスト OS の IP 指定)

設定しない場合、ネットワーク上の意図しない PC から本ライセンスを使用される可能性があります。

3.14.4 ゲスト OS でのライセンス利用

ゲスト OS で、デバイスエクスプローラを開き、ライセンス画面を確認します。

シリアル番号が正しく登録されていれば、ホスト OS 側のキーが認識され、キー情報が表示され、ステータス OK(KEY)と確認できれば正しくライセンス利用できています。

キー情報に「ライセンスキー必要」と表示される場合は、ホスト OS 側のキーが正しく利用できていないので、もう一度環境をご確認ください。

